

稚咲内公園（看板テキスト）

サロベツ湿原の一部である稚咲内公園は、利尻礼文サロベツ国立公園内にあります。利尻礼文サロベツ国立公園には、利尻島と礼文島、そして北海道のサロベツの沿岸地域が含まれます。サロベツ湿原は、国内最大の湿地帯のひとつであり、およそ 70 平方キロメートルの面積があります。この地は、野生の花々や、丹頂鶴やオジロワシといった、様々な鳥類の住処になっています。

遊歩道からは湿地帯や、近くの利尻島にある成層火山、利尻山を見渡すことができます。利尻山は、特有の野生動物の生息地であり、また、山頂付近では、珍しい高山植物が花を咲かせます。

5 月から 8 月の暖かな時期にかけて、遊歩道の周りでは多種にわたる野生の花が咲きます。黄色い花を咲かせるキジムシロ（学名：Potentilla fragarioides var. major）が最も早く 5 月に咲き、エゾカワラナデシコ（学名：Dianthus superbus L. var. superbus）が最も遅く 7 月中旬から 8 月下旬に咲き始めます。7 月中旬から下旬が花期のピークであり、ここ稚咲内公園で花を見るのに、最も適した時期と言えるでしょう。